

① M-CAP宣言・アユの放流

M-CAP宣言

(むらさきがわ カムバック アユ プロジェクト)

紫川は、私たちのふるさとの川です。そして、そこにすむアユは「紫川のシンボル」です。

子どもからお年寄りまで、多くの市民が、アユをはじめとする生きものたちと親しめる川にしたい。

夏になると川遊びができる、安全できれいな川にしたい。

アユの産卵とふ化をやさしく見守り、自然の生きものと人間との共存、共生の道を探りたいと思います。

そのために、ゴミのポイ捨て禁止などのマナーを守り、みんなで力を合わせて、アユの生息できるせいらゆうを守っていきましょう。

平成26年4月19日

今町小学校 6年児童代表



紫川河川清掃と鮎の放流が、4月19日(土)に開催された。

式典を行う前に、子どもたちは、地域の方と一緒に、きれいな川にするために紫川の清掃を行った。式典の中で、本校6年生が上記のようなM-CAP宣言を行った。

宣言の中ではマナーを守り、協力してふるさとの紫川を守っていくという強い決意を表した。式典後、アユの放流を行った。



② 環境学習(響灘ビオトープ)

環境体験科の学習として4年生は、響灘ビオトープに行き、自然を大切にすることがいかに重要であるかを学んだ。響灘ビオトープは、緑豊かな場所で、たくさんの生き物が棲んでいることに気が付いた。自分たちの住んでいる今町校区には紫川があり、この紫川にはどんな生きものが住んでいるのだろうか、紫川は本当にきれいなのだろうか、きれいにするために自分たちにも何かできることはないかと考えるようになった。



③

三校合同紫川清掃

昨年度までは別々の日に行われていた M-CAP 河川大清掃と中学校区 3 校(今町小、城野小、城南中)の合同清掃を、本年度は、10月18日(土)に土曜日授業として合同で行う計画を立てた。大清掃については、土曜日授業で全校が参加できるような体制作りをする
ことにより、今町小学校の取り組みを子どもにしっかりと根付かせることができた。

また、紫川の清掃を、中学校生徒と一緒に連携して行っており、校区、地域が連携して環境教育の取組を行い、紫川を大事にすることの大切さを感じさせることができている。

